

2024年版不整脈治療 ガイドラインを語る 新ガイドラインが発刊されるときは、 もう新ガイドラインは古くなる?!

企画：近藤祐介

(千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学)

2024年JCS/JHRSガイドラインフォーカスアップデート版不整脈治療(日本循環器学会/日本不整脈心電学会合同ガイドライン)が、2024年3月8日に神戸で開催された日本循環器学会学術集会初日に発表された。本ガイドラインは、不整脈非薬物治療ガイドライン(2018年改訂版)と不整脈薬物治療ガイドライン(2020年改訂版)をもとに、新たなエビデンスが創出された点を中心に改訂された。不整脈に対する治療内容の整合性・統一性を重視し、さらに不整脈診療に携わる医師やパラメディカルのスタッフにとって利便性を高めることを目的とし、はじめて「不整脈薬物治療」と「不整脈非薬物治療」が統一された。不整脈分野のテクノロジーの発達は目を見張るものがあり、近年注目されている生理学的ペーシングがヒス束ペーシングと左脚領域ペーシングを包括する形で刺激伝導系ペーシングとしてはじめて取り上げられた。さらに、2025年問題といわれる心不全パンデミックを迎えつつある中で、心不全合併例の不整脈治療のエビデンスが多く盛り込まれた。

そこで今回は、約1年の活動期間にて本ガイドラインの作成に携わった3人の先生方とともに、座談会を企画した。心臓植込み型電気デバイス・カテーテルアブレーション・薬物治療の3つのパートに分け、特にガイドラインからの注目すべき改訂ポイントを中心に解説していただき、日常診療での問題点などとともにディスカッションを行った。『新ガイドラインが発刊されるときは、もうすでに新ガイドラインは古くなる!』ほど日進月歩の不整脈治療に携わるみなさんにとって、本稿がガイドラインを習熟する一助となれば幸いである。



HEART's
Selection